

認知症地域支援推進員のコラム

地域包括支援センターをご存じですか？

「うちのおばあちゃん最近ちょっといつもと様子が違う、これって認知症なのかな？」「歳をとってきて段々足腰が弱ってきた、何とかしたいわ」「同じような年代の人とおしゃべりしたいけどどこか私がいけそうな場所はないかしら？」「近所で高齢の方が家族から怒鳴られてて心配……。ひょっとして虐待？」

地域包括支援センターは、このようなみなさんの相談やお悩みを受け付け、一緒に考え支援している高齢者の総合相談窓口です。もちろん、介護保険や在宅介護、施設入所の相談、消費者被害などの相談もお受けしています。ちょっとした相談ごとでも構いません。日頃あなたが「どうしたらいいだろう？」と思ったら、下記の地域包括支援センターへお気軽にご相談ください。



- ▼問い合わせ 扶桑町地域包括支援センター（総合福祉センター1F）
☎（91）1171 月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分

丹羽消防署

119番

◆ 新たな生活のスタート！この機会に防火防災対策を

4月は入社や転勤、入学などで引越しの多い時期です。

●職場などで

新たな職場などで、消火器などの消防用設備等の状況や、避難経路などを確認しておきましょう。事業所は、消防計画を基に「防火・防災教育」を実施することが重要な時期です。

●住まいで

引越しなどで新居を構える方、部屋の大きな模様替えをする方も多いのではないのでしょうか。この機会に、家具などの転倒防止策をしましょう。

▼家具などの転倒防止策
(つっぱり棒やL字金具)



▼出入口・寝室では家具の配置に注意！



いざという時、避難の妨げにならないよう家具の配置や方向にも注意が必要です。また、寝室では背の低い家具を置くか家具の置き方を工夫し、寝ている方向へ倒れてこないよう配置します。

▼問い合わせ 丹羽広域事務組合 消防本部 予防課 ☎（95）5158

◆ 令和元年救急統計

昨年、丹羽消防署では2,400件の救急車の出場がありました。出場した主な種別としては、急病（体調不良や心不全など）が1,685件で全体の約70%を占めています。続いて一般負傷（ケガや骨折など）が327件、交通事故が222件となっています。

救急車は、緊急に処置を必要とする方を病院へ運ぶためのものです。緊急性があると判断した場合は、すぐに119番通報しましょう。また、必要な人が必要な時に使うことができるよう、適正利用にご協力をお願いします。

▼救急に関する問い合わせ 丹羽消防署 ☎（95）5151